

科目名		精神看護学	単位(時間)	5単位155時間
担当講師名		専任教員 他	DP	1・2・3・4
科目設定理由		精神看護学は、あらゆる看護の領域と密接に関連している科目です。 広くこころの健康への支援を学ぶとともに、こころの健康問題を抱えた個人や家族が、その人らしく生きていくための看護について学習します。 こころの健康と精神看護では、こころの健康に関する知識を持ち、人々の発達段階や生活の場におけるこころの健康と危機、身体疾患患者の心理的問題と医療従事者のメンタルヘルスについてのケアを学習します。 精神医学の基本では、精神疾患の理解と検査や治療について学習します。 精神看護援助論では、精神に健康問題をもつ人の回復に向けた看護を学習します。対人関係の技術を基に、対象の置かれた健康問題を理解し、看護を実践していきます。また、精神に障害をもつ人が処遇されてきた歴史を辿り、現代の現状と課題を捉えていきます。そして、対象により良い看護を提供する上で、看護者として必要な倫理観を育て、対象のもてる力を活かしたその人らしい生活支援について考えていきましょう。		
科目構成	科目名	こころの健康と精神看護	精神医学の基本	精神看護援助論
	単位時間	1単位20時間	1単位15時間	1単位30時間
	履修時期	31期生 1年次 後期	30期生 2年次 前期	30期生 2年次 前後期
	学習範囲	1 こころの健康とメンタルヘルス 2 精神看護の機能と役割 3 コンサルテーション・リエゾン看護	1 主な精神疾患の症状と検査・治療	1 主な疾患・状態・治療・処置別看護 2 精神科リスクマネジメント 3 精神科リカバリー・社会復帰支援 4 精神看護の技術を用いた援助方法
	科目名	精神看護学実習		
	単位時間	2単位 90時間		
	実習のねらい	精神看護学実習では、精神に障害のある対象に寄り添い、その人らしい生活を送るための看護を考え実践していきます。そのためにはコミュニケーションや関わりを通し人間関係を形成することが必要となります。 実習前半では、対象が日常生活でどのような生活のしづらさ(難しさ)を体験しているのかを、関わりを通して理解していきます。そして、対象がこれまで歩んできた人生や時代背景にまで関心を寄せ、精神疾患が日常生活に及ぼす影響を捉えていきましょう。 また、この実習では看護実践の場面を切り取り、再構成を行います。自己の思考や表現の傾向に気付き、看護者としての自己を深く洞察できると良いでしょう。看護者が治療的環境になることを理解し、自分自身をケアの道具として活用していきましょう。 実習後半では、対象の日常生活のしづらさを緩和するために必要な支援を考えていきます。オレム-アンダーウッドのセルフケア理論モデルを踏まえ、対象の意思を尊重し、健康的な側面に注目しセルフケアへの支援を考え実践していきましょう。 また、対象が生活している特殊な治療環境について学び、医療、看護、人権について自己の考えを深めましょう。さらに、精神科デイケアや精神科訪問看護ステーション、施設の見学実習を通し、地域で生活するために必要な支援や制度について主体的に学習し、対象に必要なことを発展的に考えられると良いですね。対象の生活を支えるために、様々な職種が連携しています。各職種がどのような役割を担っているのかを学び、多職種連携について考えていきましょう。 実習を通して皆さんは、対象と関わる体験から多くの学びと成長を得るでしょう。対象との出会いや別れ、その時・その場で行った看護体験を大切に実習していきましょう。		